

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテルルートイン 鳥取	階数	地上10F		
建設地	鳥取県鳥取市商栄町 416-3	構造	RC造		
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	332 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年10月10日		
敷地面積	3,527 m ²	作成者	高橋加奈		
建築面積	1,139 m ²	確認日	2025年10月11日		
延床面積	6,791 m ²	確認者	田村邦夫		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ホテル用途である為、各部屋の快適性を検討し、個別にて部屋の室温調整ができるものとし、窓廻りには結露等が生じないようLOW-Eガラスと樹脂サッシを使用する等、快適性と同時に省エネにも配慮した	その他	
Q1 室内環境 遮音性能に配慮し各壁の遮音性能を高め且つ各室ごとの空調設備とし室内環境に対し配慮した	Q2 サービス性能 天井高さを2.4m程度とし、室内照明等についてもベッド廻りで管理出来る様利用者へのサービスを配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の利用に関し、駐車場以外の敷地空きスペースに植栽を検討し敷地周囲との調和を配慮した
LR1 エネルギー 設備システムの効率化をレベル4まで押し上げる等熱負荷空調設備への効率化へ努める配慮を行った	LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水型器具等も採用し水資源の使用量削減を考慮した 空調機器、各種配管の更新・修繕が行いやすいようシャフト、天井スペースを考慮した計画とした	LR3 敷地外環境 建物位置や駐車場配置その他敷地内の雨水排水についても、敷地内で完結する様検討を行い、近隣住宅等への環境の変化が最小限になる様配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される